

日中サービス支援型グループホームの評価結果について

開催日	2026年度第1回町田市障がい者施策推進協議会（2026年4月28日（火））
事業者	株式会社M i i
事業所名	アイダーホーム町田
評価区分	開設前評価
評価結果	1 評価 町田市では、医療的ケアが必要な方や介助量の多い重度の障がい者が利用できるグループホームを求めています。 評価の結果、上記のニーズに対し、人員配置、支援の内容及び質、医療との連携、地域資源との関わり、防災、金銭管理の各項目において不十分な点が見受けられました。 つきましては、項目2の付帯意見に十分留意し、適切な事業運営を検討してください。また、地域資源や医療機関等と連携し、医療的ケアが必要な方や重度の障がい者の積極的な受入れに努めるとともに、短期入所については、緊急時の受入れが円滑に行えるよう、日頃から万全の体制を整えてください。 2 付帯意見 ①人員配置 ・夜間体制について、非常勤だけでなく常勤を含めた体制の構築に努めること。 ・支援の質の確保及び安定的なサービス提供のために、スポットワークや単発派遣等の利用に頼らない体制の構築に努めること。 ・看護師の配置について、現状では非常勤1名のみの配置となっているが、医療的ケアの質の担保が可能となるよう体制強化に努めること。 ②支援の内容及び質 ・強度行動障がい者や重度重複障がい者の受入れ実績が乏しい現状に鑑み、事業の安定運営と支援の質の向上を図るため、研修計画を策定し、グループホームの開設前から計画的に取り組むこと。なお、研修計画において、視覚・聴覚障がい者の受入れを想定した専門的な支援技術を習得できるよう、研修プログラムを検討すること。 ・支援の質の維持のため、入居者一人ひとりの障がい特性、生活状況、能力などの項目についての確に把握・分析（アセスメント）し、スタッフ間で共有する仕組みの構築に取り組むこと。 ・人材の育成及び確保を図るため、法人内におけるスキルアップ支援や人事評価制度等の導入に取り組むこと。 ・入居者の特性に応じたきめ細やかな支援を実現するため、保護者との関わりを深め、信頼関係の構築に努めること。 ③医療との連携 ・医療（医療機関、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等）との連携体制、体調の急変や事故等の緊急対応への方法について具体的な検討を行うこと。特に医療との連携については、近隣の医師との連携体制を速やかに構築し、医療体制に万全を期すること。 ④地域資源との関わり ・支援困難なケースへの対応力を強化するため、地域資源との連携体制を積極的に構築していくこと。 ・入居者が地域との交流や社会的な活動に参加できるよう、地域との関わりを具体的に検討し、実施すること。 ⑤防災 ・地震、風水害、火災等に備えた実効性のある防災計画を作成するとともに、定期的に訓練を実施すること。

⑥金銭管理

- ・金銭管理については、権利擁護の観点から成年後見制度や社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業などの第三者を介して管理する方法についても検討すること。